

事業所名

放課後等デイサービスきらきら福地

支援プログラム

2025 年

4月

1 日

法人（事業所）理念	「たのしく」をモットーにして行く、楽しくできないときは理由を掘り下げ、健康・生活すべてにわたりあらゆる分野の専門の知識を駆使しながら本人が楽しく人生を送れるようにサポートして行く。							
支援方針	社会の一員として色々な世代、お年寄りから若い世代、子どもも社会の一員としてかわりを持つことを学んでいながら、将来自分達も自分の居場所をきちんと見出し社会に貢献できる様になるために支援する。							
営業時間	9 時	00 分	から	18 時	00 分	まで	送迎実施の有無	有
本人支援	健康・生活	放課後の居場所になり、年齢層が異なる子供たちがそれぞれ刺激し合いながら成長をし基本的な健康を維持するためのスキル、手洗い・消毒、感染症予防など生活習慣で大切な事柄を学んで行く。又生きていくうえで大切な食べる事を学ぶために料理をして人にたよらなくても自分で食べる事ができる様に調理器具の使い方料理の仕方を学んで行く。又自分の気持ちを相手に正しく伝える事が出来る様にして行く。自分の健康状態も正しく相手につたわるようにし、大切な自分自身の健康の維持が出来るように支援して行く。						
	運動・感覚	運動感覚を養うゲームなどを定期的にしなが楽しみながら運動感覚を養う。同施設に併用しているボルタリングや芝生での運動、夏はプールや水遊び、又、近くにある公園などを利用して運動機能や感覚機能の向上を促していきます。特に同施設に近い民芸演劇劇団「田楽座」による太鼓の指導などは、感覚を養いながら運動機能も同時に養うような体制もプログラムに取り入れている。又朗読などで民話童話を耳で聞いて創造を働かせるなど感覚を養うプログラムなどを入れている。						
	認知・行動	多方面にわたりプログラムを設定し、その中で自己決定をしながら行動ができるようして行く。それらがむずかしと思われる時は絵や絵コンテなど、又本人が認知しやすいと思われる説明を工夫しながら自己決定がしやすく行動に結びつく様にして行くと同時に興味関心が広がる様に支援して行く。						
	言語 コミュニケーション	自分の事を正しく理解してもらい、又、自分の今の状態や思っている事を言える事は、生きて行く上や生活をして行く上で大切な要素なので、あらゆる方面で支援して行く。読み書きなど苦手な分野の指導や自分の思いを正しく伝えられる様な支援を多方面にわたり支援して行く。より支援が必要な時は絵や絵コンテなども使用して、わかりやすくして伝える様にして行く。また当施設はボランティアによる英語の話し方などもコミュニケーションとして行っている。						
	人間関係 社会性	それぞれの居場所を構築しながら社会生活に必要な人間関係を築いていく。常に日常生活の場所で適切に支援をして行けるようしながら自己決定が出来るようして行く。そのことで自信をもって人間関係を構築でき、社会性も出来ていけるように支援して行く。						
家族支援	困り事やきすぎと常に向き合っている体制を築いていく、その都度必要な事項について適切なアドバイスが出来るよう日頃の研鑽を積むとともに家族が気楽に相談出来る体制を構築して行く、家族会を定期的に関いて家族間も交流が出来る体制を構築して行く。			移行支援	必要と思われる機関、学校、医療機関、地域支援機関、と情報交換をしていく、又移行支援会議に参加していき家族が安心して新たな環境に進める様にする。			
地域支援・地域連携	当施設は高齢者のデイサービスも併用しているので常時の交流を促す。又地域の方との交流の場としての喫茶店オレンジカフェなどにも参加出来る体制があるので積極的に参加をして地域連携を促す。地区のボランティアなどに積極的に参加していく。			職員の質の向上	支援の中で必要な情報は職員と常に共有していく。専門性を高める為に必要な研修会に参加する。職員間の質の向上をはかるため研修、会議を常時行っていく。			
主な行事等	春休み、夏休みは、「国立信州高遠青少年自然の家」に行き、1日を大自然の中で過ごす。地区のお祭りに参加する。季節の行事を行う、お雛祭り・お節句、夏はプール遊び、近くの川で沢蟹取り神社探索、消防士による防災訓練、避難訓練の実施、警察官による交通安全教室を行っていく。							